～ 土のうを作る専用機 ～

運転資格：－
設営人員：３人
設置時間：約３０分

土のう造成機（どのうぞうせいき）

（可搬型定置式）



■目的

・応急対策や被害防止のために必要な「土のう」を迅速・大量に作る機械です。

■特長

・土のう袋への土の詰め込み・結束・搬出までの一連の作業が自動です。
・１時間に約３６０袋の土のうを作ることができます。
・土のうが必要な場所まで、土のう造成機をトラックで運搬できます。





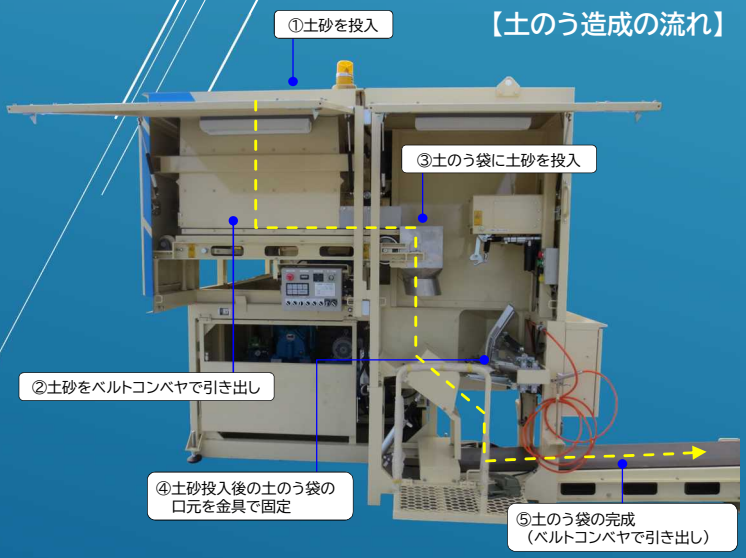


■主な出動実績



・令和元年10月6日に発生した台風19号の接近、通過に伴い、東北地方の広い範囲に観測史上1位の値を更新する大雨を降らせ、甚大な被害が発生しました。

【土のう造成の流れ】



国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

■機械寸法:全長4.60m×全幅3.80m×全高2.90m　■機械総重量:3,400kg　■土のう製作能力:360袋/時間　■土砂供給ホッパ容量:1.0m3
■土のう規格:約20kg（620mm×480mm）一般的な土のう袋の規格　■発動発電機:1台(20KVA)